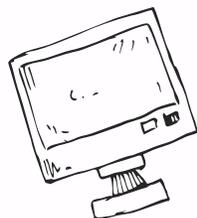
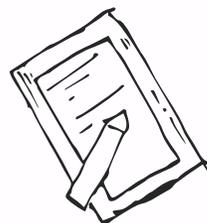




eラーニングを活用してオンライン社員教育で 成果を出すための2つのポイント

1. はじめに
2. eラーニングを導入しても成果が出ない理由
3. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法
 - ① メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう
 - ② eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくろう
4. manebiのご紹介



1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

1. はじめに

コロナ禍で加速する研修のオンライン化

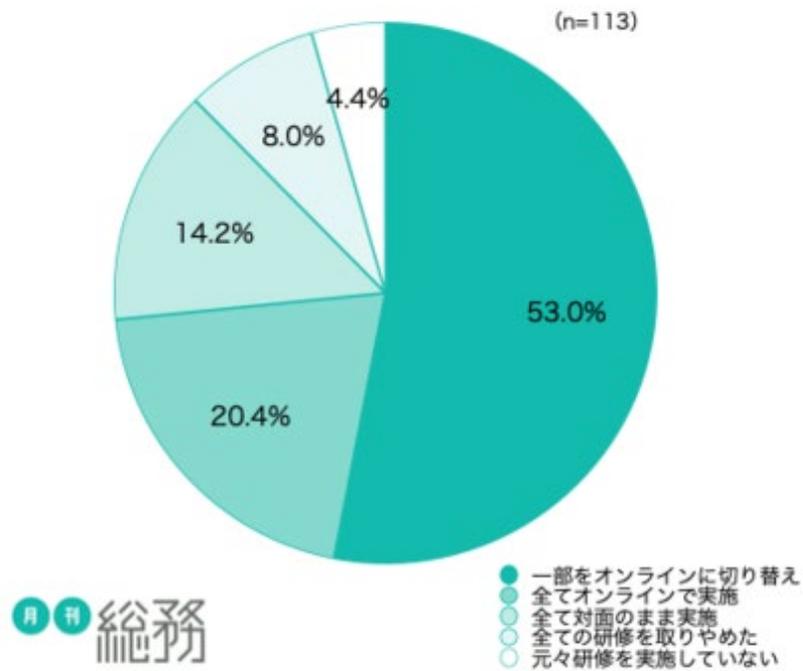
73.4%が対面研修のオンライン化に着手

新型コロナウイルス感染症は初の感染確認からわずか数ヶ月で世界中に広がり、社会は大きく変わることとなりました。

企業も影響を受けており、感染リスクを抑えながら経営を続けていくことがこれからの時代に重要になります。そして、企業活動を続けていくためには、社員への研修も必要です。こうした状況を踏まえ、研修を対面式からオンライン式へと移行する企業も増えてきています。

株式会社月刊総務（右図）によれば、73.4%の企業が研修のオンライン化に着手していることがわかりました。移動時間の削減や場所の制約、コスト削減といった面でメリットを実感しているようです。

これまで対面で実施していた研修を、
新型コロナウイルス感染拡大後に
オンラインに切り替えて実施していますか



1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

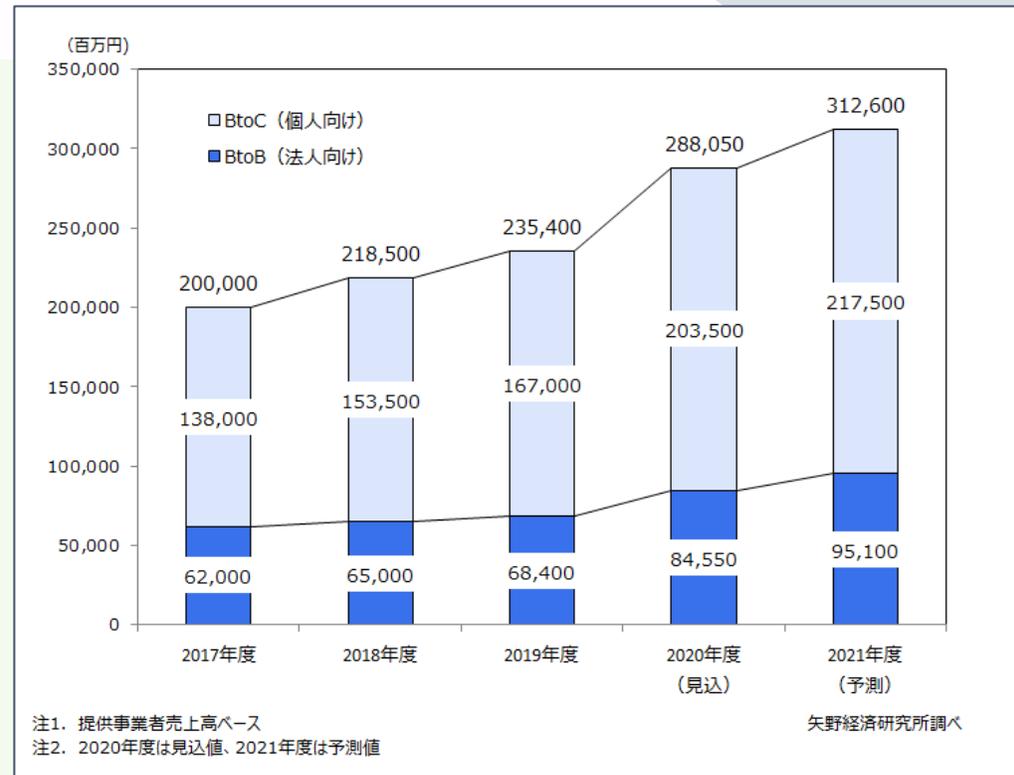
1. はじめに

高まるeラーニングの需要

コロナ禍で対面の研修ができなくなった昨今、eラーニングの需要が高まっています。矢野経済研究所の調査（右図）によれば、2021年度の国内eラーニング市場規模は前年比8.5%増の3,126億円だと予想されており、当社への問い合わせ件数も増加しています。

こうした状況下で、必要に迫られてeラーニングを導入したものの、具体的な教育イメージがなくて「効果が出ないのではないか」「導入した意味があるのか」と不安を抱える企業は決して少なくありません。

このようにせっかくeラーニングを導入しても、運用方法がわからなくて失敗に終わる企業は、実は非常に多いのです。



1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットから
eラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための
仕組みをつくろう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

1. はじめに

eラーニング導入を成功に導く

eラーニングで高い成果を出すためには、正しいステップを踏んで自主学習を定着させることが大切です。しかしながら、こういった取り組みは、初めてeラーニングを導入する企業にとっては難しいため、専門家のサポートを受けることが欠かせません。

manebiというサービスにおいてeラーニングを提供する株式会社manebilは、サービスを開発運営したノウハウを活かし、多くの企業のeラーニング導入を成功に導いてきました。

本eBookでは、社員教育向けのeラーニングサービスを提供する弊社manebiが、「**eラーニングを活用して着実に成果を出す方法**」についてお伝えします。

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットから
eラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための
仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

2. eラーニングを導入しても成果が出ない理由



「eラーニングを導入したが、
受講率の向上や学習効果が見られなかった」

こういった悩みを抱える企業は、少なくありません。

そもそも、どうしてeラーニングを導入しても効果を得られないケースがあるのでしょうか。

まずは、**その理由について2つ紹介**します。

2. eラーニングを導入しても**成果が出ない理由**

コロナ禍をきっかけに、eラーニングを導入した企業は多いでしょう。しかし、具体的な研修内容や研修実施の目的を考慮しないまま、「オンライン化すること」が目的になってしまうと、導入は失敗に終わってしまいます。eラーニングの導入を成功させるためには、**教育・研修本来の目的を明確にすることが大切です。**

eラーニング導入の本来の目的例

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットから
eラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための
仕組みをつくろう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

2. eラーニングを導入しても**成果が出ない理由**

理由 2

学習を**社員任せ**にしている

eラーニングはツールの性質上、学習内容やスピードが受講者の自主性に依存しやすいという傾向にあります。しかし、受講生の自主性に任せてeラーニングを運用すると以下のような課題が生じてしまい、**導入しても放置されてしまう可能性が高まります。**

受講者が抱える課題の例

eラーニングを効果的に運用するためには、自主的な学習を促して上記の課題を解消するための工夫が必要です。

次のページでは上記理由を踏まえて、**着実に成果を出す方法** をご紹介していきます。

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットから
eラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための
仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

3. eラーニングを活用して**着実に成果を出す方法**

eラーニングの活用で着実に研修成果を出すためには、

**eラーニングの目的と役割を明確にして、
自主学習の習慣を定着させる仕組みづくりが肝心**です。

ここからは、eラーニングで成果を出すための方法を、以下のステップで紹介します。

- 1.メリット・デメリットから、eラーニングの目的・役割を整理
- 2.eラーニングを利用してもらうための仕組みを作る

後半では、よりeラーニングの成果を引き出すポイントについてもお伝えします。



1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしてしまっている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

3. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の
解決策

① メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう

eラーニングは万能ではありません。当然ながら、できることとできないことの両方があります。まずは、eラーニングのメリット・デメリットを理解し、他ツールとの使い分け方を考えてみましょう。

<メリット>

インプット&アウトプットの量が増える	各従業員が空いた時間を活用して効率的に教材を学べるため、インプットとアウトプットの量が増えます。その結果、より多くの知識を取り込み、その知識を実践的なものに磨き上げやすくなるのです。
講師による教え方の差が出ない	eラーニングでは、すべての従業員が同じ動画や教材を使うため、教育の質に差が生まれにくくなります。対面研修では講師によって教育に差が出やすいので、いつでもどこでも均一な教育が受けられる点はメリットでしょう。
学習進捗や理解度の差が可視化される	eラーニングのシステムを活用すれば、従業員の学習進捗やテスト結果を見て、一人ひとりの理解度を管理できます。必要に応じて適切なサポートを行えるため、キャリアに合わせた戦略的な教育を実現してくれます。
短くてわかりやすいコンテンツが多い	短くてわかりやすいコンパクトな内容に仕上がっていることもeラーニングのメリットです。60分の教材を5分ごとに分割するなど、スキマ時間に学習できるように作成されているため、忙しい従業員でも着実に学習を進められるでしょう。
学習履歴データを取得できる	eラーニングでは受講者の学習履歴データを取得できるため、研修内容の見直しや改善に役立てられます。実際、eラーニング戦略研究所の調査によると、約8割もの企業が受講履歴や結果を積極的に活用していることがわかっています。

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

3. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

eラーニングは数多くのメリットがある一方で、デメリットもあります。

<デメリット>

リアルタイムのコミュニケーションがとれない	各自で学習してもらうため、リアルタイムのコミュニケーションがとれません。講師の話をもとにWeb会議でディスカッションをすることは可能ですが、 やはり対面の方がスムーズに進められます 。また、その都度システムの設定が必要なので、手間がかかります。
実践型の研修やOJTができない	道具や設備を扱いながら行う研修やOJTはできません。こういった研修を強引にeラーニングにしまうと、 研修本来の目的が達成できなくなる恐れがあるため注意しましょう 。

ここまでメリット・デメリットを確認してきましたが、eラーニング導入を成功に導くコツは、

他の研修手段と組み合わせて

デメリットを補いながら教育することです。



1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしてしまっている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう

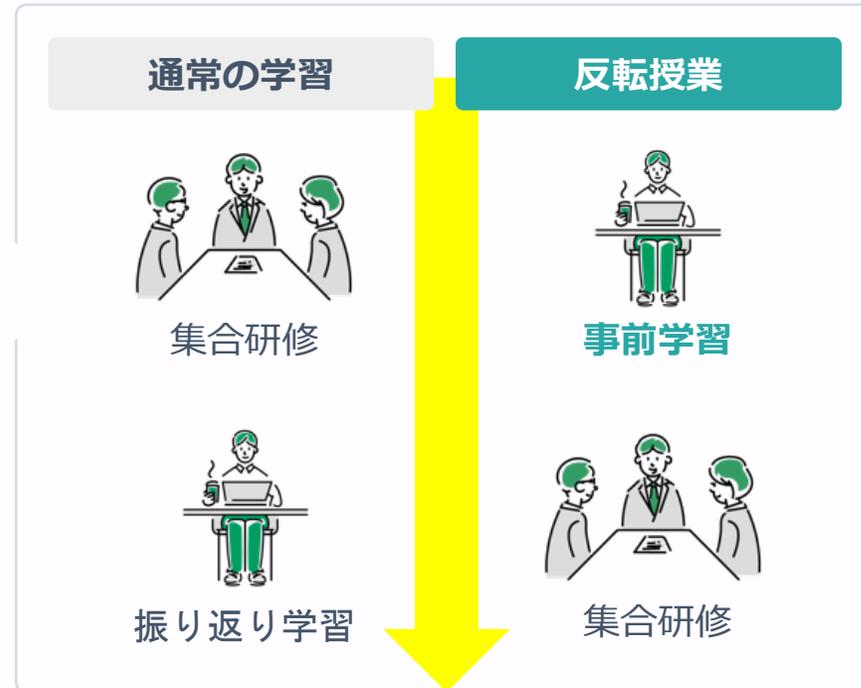
理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

3. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

前のページで紹介したeラーニングのデメリットを補うためには、ライブ形式の集合研修や1対1およびグループでのディスカッションなどを併用することが有効です。必要に応じてビデオチャットツールや対面の研修を活用して、リアルタイムのコミュニケーションを取りながら学べる場も提供しましょう。



また、eラーニングで学習してから集合研修を行う「反転授業」であれば、より高い学習効果が期待できます。無理にすべてをオンライン化するのではなく、学ぶ内容に合わせてさまざまな方法を組み合わせることが、研修の成果を最大化するコツです。

②eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくらう

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットから
eラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための
仕組みをつくろう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

3. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

② eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくろう

受講率が上がらない原因

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

- 理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている
- 理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

- 理由1の解決策
①メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう

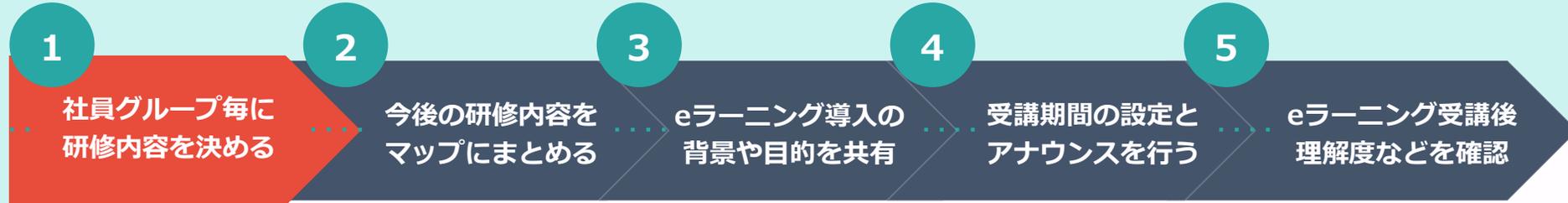
- 理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

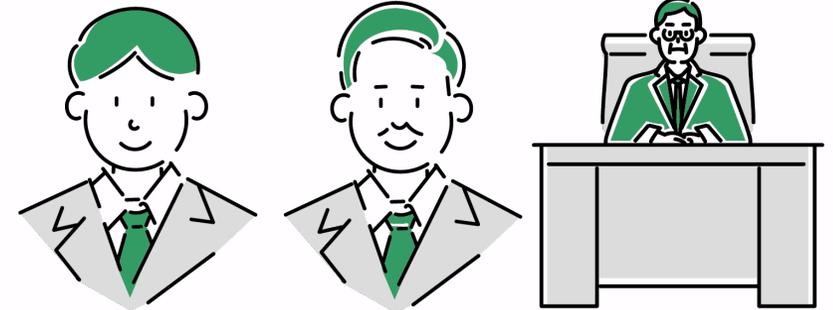
4. manebiのご紹介

3. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

基本の仕組みづくりのフロー



新入社員研修や営業研修など、どの社員にどのような研修を実施するのかを決定しましょう。
社員グループごとに研修を受けさせる目的や習得してもらいたいスキルは異なるので、正しく目的を設定して必要な学習内容や学習教材を考えます。



1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

- 理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている
- 理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

- 理由1の解決策
①メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう

- 理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくろう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

3. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

基本の仕組みづくりのフロー



学習教材をどのような順番で受講してもらうかをフローやステップ形式で可視化します。これにより、受講者に「このあと何をすればいいか」について把握してもらうことができます。

eラーニングには、搭載されている教材をベースに、学習ステップの雛形を用意しているツールもあるので、自社の学習ステップを作るときは、それをカスタマイズすると成功しやすいでしょう。

パワハラ初級	セクハラ初級	セクハラ中級	パワハラ中級	ハラスメント応用
ハラスメント防止講座	セクハラ発生への対応策を学ぶ	セクシャルハラスメントの知識（中級）	【2020.06法改正対応】新しい指導か？パワハラか？（指導とパワハラの境とは？）	LGBT講座
パワーハラスメント防止講座テスト				労働紛争リスク回避のポイント「セクハラ・パワハラによる生じるリスクとは？」

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットから
eラーニングの目的・役割を整理しよう

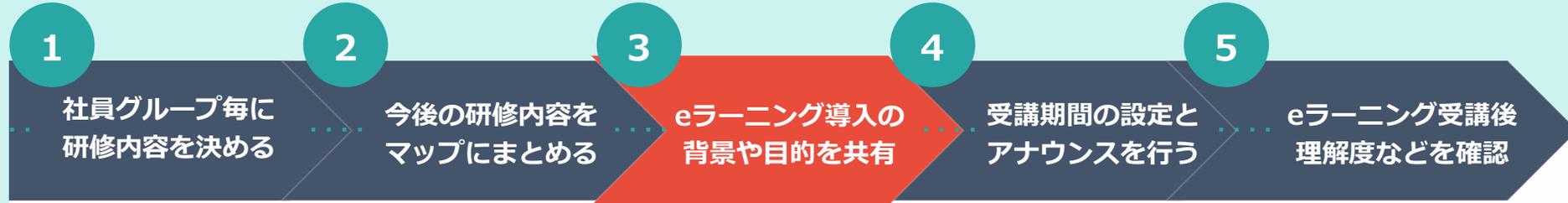
理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらための
仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

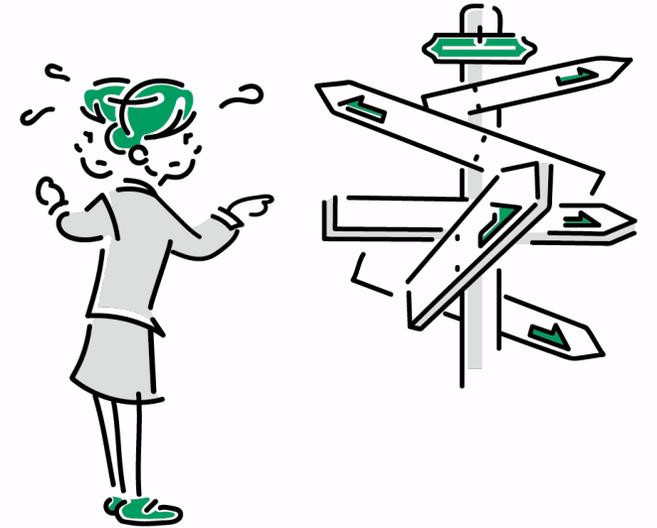
3. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

基本の仕組みづくりのフロー



eラーニングを「どういう理由があって導入するのか」や、eラーニングを受講することで「従業員にどうなってもらいたいのか」という学習の目的を示しましょう。

目的がわからないと、受講者が学習に対するモチベーションを持つことが難しくなってしまいます。導入理由や受講目的は、朝礼や社内報で共有するほか、代表の方からなどのメッセージを短いコンテンツとしてeラーニング上にアップすることで、受講者の学習意欲を高める方法も有効です。



1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットから
eラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための
仕組みをつくろう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

3. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

基本の仕組みづくりのフロー



eラーニングは一人で進めるので、受講が促進されにくいというデメリットがあります。「いつまでに何を終わらせるのか」についてしっかりと提示し、確実に受講してもらえ環境を整えましょう。

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

- 理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている
- 理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

- 理由1の解決策
①メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう

- 理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

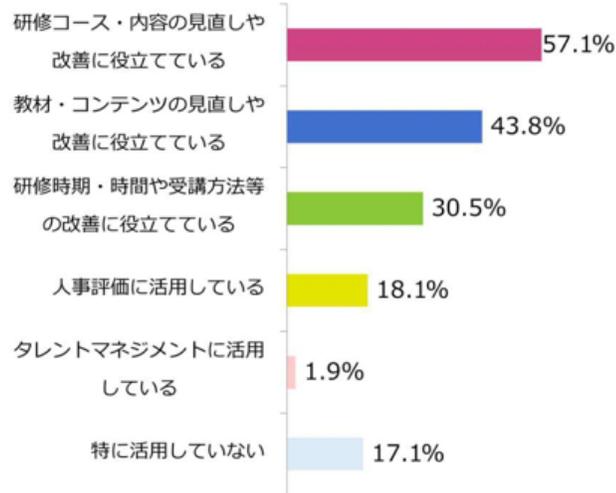
4. manebiのご紹介

3. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

基本の仕組みづくりのフロー



Q. 集合研修やeラーニング研修の受講履歴や結果を分析して何らかの形で活用していますか？



引用：eラーニング研修と教育ビッグデータ活用についてのアンケート調

実際にeラーニングを受講してもらったら、**理解度や感想、要望を把握するために、テストやアンケートを実施**します。

テストやアンケート結果をもとに欲しいコンテンツや足りないコンテンツ、不要なコンテンツなどを洗い出してPDCAを回し、自社に合ったeラーニングへブラッシュアップすると、より受講のモチベーションを高め、成果を上げることも可能です。

3. eラーニングを活用して**着実に成果を出す方法**

受講したくなる動機付けをする「学習動機の二要因モデル」

「学習動機の二要因モデル」とは、受講者が「学びたい」と意欲的に思うための動機を以下の2つに分類したもののことを指します。

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットから
eラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための
仕組みをつくろう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

3. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

特徴：実際の仕事に活かせるかどうかを重視

★学習意欲の高い人にだけ、eラーニングを利用させる選抜教育も

最低限の学習をしてもらったあとは、全員ではなく、挙手制で学習意欲が高い従業員のみでeラーニングを利用させてもいいでしょう。学習進捗やテスト結果・レポート内容がよかった人の教育に注力することで、さらに成果へつながる人材の育成が叶います。

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても
成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して
着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットから
eラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための
仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

4. *manebi* eラーニングを導入した **企業の事例**

eラーニング導入を成功に導くためのポイントを紹介しましたが、実際に導入している企業はどういった成果を挙げているのでしょうか。manebi eラーニングサービスを導入した企業の事例を以下にまとめました。

ミズノ株式会社 様

集合研修をeラーニングに切り替えて
教育コストの削減に成功

導入の背景

社員研修は本社や各拠点での集合研修が中心でしたが、**移動に伴う交通費や出張経費などのコスト**や、**現場の運営業務を外れて外部研修へ参加することが難しい**ケースも多かったため、eラーニングを利用してリモートで研修できないかと思っていました。

ヤマト科学株式会社 様

コロナ禍でeラーニングを導入し新しい教育にチャレンジ

導入の決め手

manebiにはコンテンツが5,000もあるので、初期教育からそれ以上の教育にもある程度広く対応できるだろうということ、**まずは新人研修からやってみよう**と導入が決まりました。あとは、「webで受講できること」、「自社で作ったコンテンツを簡単に載せられること」も決め手になりましたね。

一般社団法人和乃絆 様

障害者就労支援にeラーニングを導入し福祉のオンライン化に取り組む

manebi**eラーニング導入の効果**

教育プログラムをまとめることが難しい状況だったのですが、eラーニングシステムを導入して教育内容をまとめることができました。また、利用者様が就職する業界も様々なので、搭載されている**コンテンツの幅が広い**のも良かったですね。

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットから
eラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための
仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

5. *manebi* サービス紹介

1,500コース、5,000レッスンの
教材が見放題！
すぐに始められるeラーニング。

導入実績3,500社以上！教材5,000レッスンが見放題なので、すぐに始められる eラーニングです。自社教材の作成も簡単。研修対象に合わせた柔軟なカリキュラム設定、受講率をあげるメール配信、学習レポートなどLMS機能も充実のクラウドサービスです。



1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくろう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

様々なジャンルの教材1,500コース、5,000コンテンツが見放題

新入社員 向けコンテンツ例

その他教材の主なジャンル：

ビジネスマナー、おもてなし、接客、販売、営業、製造、物流、Microsoft Office、モチベーション、メンタルヘルス、ビジネス推進力、思考力、リーダーシップ、マネジメント、ビジネス統計、アプリ、デバイス、企業会計、ファイナンス、戦略、マーケティング、イノベーション、事業開発、人事、労務、法務、コンプライアンス、海外進出、異文化、介護、実務英語、中国語版マネジメント、ビジネススキル、etc.

1. はじめに

1. eラーニングを導入しても成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットからeラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

5. *manebi* サービス紹介 特徴・機能

01 コースマップ機能

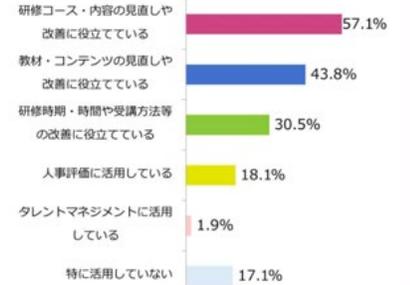
既存教材やアップロード教材を組み合わせ、受講者の学習ステップを作成できます。



02 テスト・レポートアンケート機能

学習の振り返りテストや、研修自体の振り返りに約8割もの企業が受講履歴や結果を積極的に活用してPDCAを回しています。

Q. 集合研修やeラーニング研修の受講履歴や結果を分析して何らかの形で活用していますか？



引用：eラーニング研修と教育ビッグデータ活用についてのアンケート調

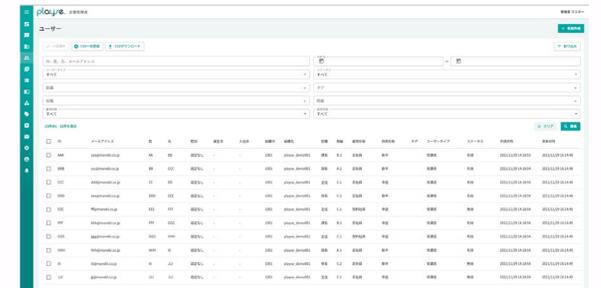
03 アップロード機能

動画、スライド、PDFなどで自社教材をアップロードして作成することができます。専門性の高い教材や反転授業として活用もいただけます。



04 IDの有効・無効の切り替えが可能

発行ID数に関わらず、当月の有効ID数分だけのお支払いなので無駄な費用は一切かかりません。有効・無効は管理画面より簡単に切り替えられます。



1. はじめに

1. eラーニングを導入しても
成果が出ない理由

理由1
導入の目的が“オンライン化”になっている

理由2
学習を社員任せにしている

2. eラーニングを活用して
着実に成果を出す方法

理由1の解決策
①メリット・デメリットから
eラーニングの目的・役割を整理しよう

理由2の解決策
②eラーニングを利用してもらうための
仕組みをつくらう

3. 活用事例 成功事例

4. manebiのご紹介

5. *manebi* サービス紹介 集合研修

eラーニングだけではなく、オンライン集合研修のサービスも開始いたしました。
企業様ごとに内容のカスタマイズが可能です。

 <h3>マネジメント研修</h3> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 組織マネジメント研修 ✓ 組織マネジメント研修 → 戦略的思考研修 ✓ プロジェクトマネジメント研修 ✓ リーダシップ研修 (リーダーシップ研修) ✓ コーチング研修 ✓ 目標管理と部下育成研修 	 <h3>経営企画研修</h3> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 経営戦略研修 ✓ 新規事業開発研修 ✓ 戦略的思考研修 ✓ CSR (企業の社会的責任) 入門研修 ✓ マーケティング研修 ✓ SWOT分析研修 	 <h3>ビジネススキル研修</h3> <ul style="list-style-type: none"> ✓ PDCAサイクル研修 ✓ 交渉力研修 ✓ ストレスマネジメント研修 ✓ タイムマネジメント研修 ✓ ファシリテーション研修 ✓ プレゼンテーション研修
 <h3>接客研修</h3> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ビジネスマナー研修 ✓ おもてなし接客研修 ✓ 電話対応研修 ✓ 接客・クレーム対応研修 ✓ 管理職向けクレーム対応研修 ✓ 接客・接客向上研修 	 <h3>ワークショップ研修</h3> <ul style="list-style-type: none"> ✓ SDGsワークショップ ✓ トリセツワークショップ ✓ キャリアビジョンワークショップ ✓ インプロワークショップ 	 <h3>メンタルスキル研修</h3> <ul style="list-style-type: none"> ✓ メンタルヘルス研修 ✓ メンタルトレーニング研修 ✓ アンダーコントロール研修 ✓ アサーションスキル研修

お気軽にご相談ください

eラーニングを導入しても、運用が難しくて失敗する企業は多いものです。成果を出すためには適切なステップで利用する必要がありますため、プロに相談しながら自社に合った方法で活用しましょう。

manebiは**5,000以上のコンテンツ**を誇り、**eラーニングの課題を解消するために欠かせないトレーニングマップ機能、自社コンテンツのアップロード機能、テスト機能**を標準装備しています。また、**専門知識を持ったプロによる導入や運用のサポート実績**も豊富です。

料金プランによる標準機能の利用制限はなく、システム導入～導入後のサポートまですべて含まれています。業種別や階層別の教育パック作成、ラーニングマップの提案なども可能なので、まずはお気軽にご相談ください。

manebi

教材5,000レッスンが見放題！
すぐに始められるeラーニング。



TEL
050-1745-1811
(平日9:00~18:00)



Mail
sales-manebi@manebi.co.jp
(manebi事業営業部)



WEBSITE
<https://manebi.co.jp/service/e-learning/>

